

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書	
【提出先】	関東財務局長	
【提出日】	平成25年 8月20日	
【会社名】	タカラバイオ株式会社	
【英訳名】	TAKARA BIO INC.	
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 仲尾 功一	
【本店の所在の場所】	滋賀県大津市瀬田三丁目 4番 1号	
【電話番号】	(077) 543局 7212番	
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 木村 睦	
【最寄りの連絡場所】	滋賀県大津市瀬田三丁目 4番 1号	
【電話番号】	(077) 543局 7212番	
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 木村 睦	
【届出の対象とした募集（売出）有価証券の種類】	株式	
【届出の対象とした募集（売出）金額】	一般募集	11,045,280,000円
	引受人の買取引受による売出し	9,945,000,000円
	オーバーアロットメントによる売出し	3,281,850,000円
	<p>（注）1．募集金額は、発行価額の総額であります。  ただし、今回の募集の方法は、引受人が発行価額にて買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）で一般募集を行うため、一般募集における発行価格の総額は上記の金額とは異なります。</p> <p>2．売出金額は、売出価額の総額であります。</p>	
【安定操作に関する事項】	<p>1．今回の募集及び売出しに伴い、当社の発行する上場株式について、市場価格の動向に応じ必要があるときは、金融商品取引法施行令第20条第1項に規定する安定操作取引が行われる場合があります。</p> <p>2．上記の場合に安定操作取引が行われる取引所金融商品市場を開設する金融商品取引所は、株式会社東京証券取引所であります。</p>	
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町 2番 1号）	

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成25年8月12日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、一般募集の募集条件、引受人の買取引受による売出しの売出条件、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及び売出条件、その他この新株式発行及び株式売出しに関し必要な事項が平成25年8月20日に決定されましたので、これらに関連する事項を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第一部 証券情報

#### 第1 募集要項

- 1 新規発行株式
- 2 株式募集の方法及び条件
  - (1) 募集の方法
  - (2) 募集の条件
- 3 株式の引受け
- 4 新規発行による手取金の使途
  - (1) 新規発行による手取金の額
  - (2) 手取金の使途

#### 第2 売出要項

- 1 売出株式（引受人の買取引受による売出し）
  - 2 売出しの条件（引受人の買取引受による売出し）
  - 3 売出株式（オーバーアロットメントによる売出し）
  - 4 売出しの条件（オーバーアロットメントによる売出し）
- 募集又は売出しに関する特別記載事項
- 1 オーバーアロットメントによる売出し等について

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_ 罫で示してあります。

なお、発行価格等決定日が平成25年8月20日(火)となりましたので、一般募集の申込期間は「自 平成25年8月21日(水) 至 平成25年8月22日(木)」、払込期日は「平成25年8月27日(火)」、受渡期日は「平成25年8月28日(水)」、引受人の買取引受による売出し及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間は「自 平成25年8月21日(水) 至 平成25年8月22日(木)」、受渡期日は「平成25年8月28日(水)」、グリーンシューオプションの行使期間は「平成25年8月28日(水)から平成25年9月12日(木)までの間」、シンジケートカバー取引期間は「平成25年8月23日(金)から平成25年9月9日(月)までの間」となります。

## 第一部【証券情報】

### 第1【募集要項】

#### 1【新規発行株式】

（訂正前）

<前略>

（注）2．本募集（以下「一般募集」という。）及び一般募集と同時に行われる後記「第2 売出要項 1 売出株式（引受人の買取引受による売出し）」に記載の売出し（以下「引受人の買取引受による売出し」という。）にあたり、その需要状況を勘案した上で、当該募集及び売出しの主幹事会社である野村證券株式会社~~が~~当社株主である宝ホールディングス株式会社から1,650,000株を上限として借入れる当社普通株式の売出し（以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。）を行う場合があります。

オーバーアロットメントによる売出し等の内容につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 1 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照下さい。

<後略>

（訂正後）

<前略>

（注）2．本募集（以下「一般募集」という。）及び一般募集と同時に行われる後記「第2 売出要項 1 売出株式（引受人の買取引受による売出し）」に記載の売出し（以下「引受人の買取引受による売出し」という。）にあたり、その需要状況を勘案した結果、当該募集及び売出しの主幹事会社である野村證券株式会社~~が~~当社株主である宝ホールディングス株式会社から借入れる当社普通株式1,650,000株の売出し（以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。）を行います。

オーバーアロットメントによる売出し等の内容につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 1 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照下さい。

<後略>

#### 2【株式募集の方法及び条件】

（訂正前）

平成25年8月20日(火)から平成25年8月23日(金)までの間のいずれかの日（以下「発行価格等決定日」という。）に決定される発行価額にて後記「3 株式の引受け」に記載の引受人は買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）で一般募集を行います。引受人は払込期日に発行価額の総額を当社に払込み、一般募集における発行価格の総額との差額は引受人の手取金とします。当社は引受人に対して引受手数料を支払いません。

（訂正後）

平成25年8月20日(火)（以下「発行価格等決定日」という。）に決定された発行価額にて後記「3 株式の引受け」に記載の引受人は買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）で一般募集を行います。引受人は払込期日に発行価額の総額を当社に払込み、一般募集における発行価格の総額との差額は引受人の手取金とします。当社は引受人に対して引受手数料を支払いません。

## (1)【募集の方法】

(訂正前)

区分	発行数	発行価額の総額(円)	資本組入額の総額(円)
株主割当	-	-	-
その他の者に対する割当	-	-	-
一般募集	6,000,000株	<u>13,068,000,000</u>	<u>6,534,000,000</u>
計(総発行株式)	6,000,000株	<u>13,068,000,000</u>	<u>6,534,000,000</u>

&lt;中略&gt;

(注)3. 資本組入額の総額は、会社法上の増加する資本金の額であり、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとします。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とします。

4. 発行価額の総額及び資本組入額の総額は、平成25年8月5日(月)現在の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額であります。

(訂正後)

区分	発行数	発行価額の総額(円)	資本組入額の総額(円)
株主割当	-	-	-
その他の者に対する割当	-	-	-
一般募集	6,000,000株	<u>11,045,280,000</u>	<u>5,522,640,000</u>
計(総発行株式)	6,000,000株	<u>11,045,280,000</u>	<u>5,522,640,000</u>

&lt;中略&gt;

(注)3. 資本組入額の総額は、会社法上の増加する資本金の額であり、また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額(発行価額の総額)から増加する資本金の額(資本組入額の総額)を減じた額とします。

(注)4. の全文削除

## (2)【募集の条件】

(訂正前)

発行価格(円)	発行価額(円)	資本組入額(円)	申込株数単位	申込期間	申込証拠金(円)	払込期日
未定 (注)1.2. 発行価格等決定日の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値(当日に終値のない場合は、その日に先立つ直近日の終値)に0.90~1.00を乗じた価格(1円未満端数切捨て)を仮条件とします。	未定 (注)1.2.	未定 (注)1.	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>

(注)1. 日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式により、上記仮条件により需要状況を勘案した上で、平成25年8月20日(火)から平成25年8月23日(金)までの間のいずれかの日(発行価格等決定日)に、一般募集における価額(発行価格)を決定し、併せて発行価額(当社が引受人より受取る1株当たりの払込金額)及び資本組入額を決定いたします。なお、資本組入額は資本組入額の総額を新規発行株式の発行数で除した金額とします。

今後、発行価格等(発行価格、発行価額、資本組入額、売価、引受価額及び引受人の手取金をいう、以下同じ。)が決定された場合は、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項(発行価額の総額、資本組入額の総額、差引手取概算額、手取金の使途、引受人の買取引受による売出しの売価額の総額、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及びオーバーアロットメントによる売出しの売価額の総額をいう、以下同じ。)について、目論見書の訂正事項分の交付に代えて発行価格等決定日の翌日付の日本経済新聞及び発行価格等の決定に係る有価証券届出書の訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の当社ウェブサイト([URL]http://www.takara-bio.co.jp/) (以下「新聞等」という。)で公表いたします。なお、発行価格等が決定される前に有価証券届出書の記載内容について訂正が行われる場合には、目論見書の訂正事項分が交付されません。また、発行価格等の決定に際し、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項以外の記載内容についての訂正が含まれる場合には目論見書の訂正事項分が交付され、新聞等による公表は行いません。

&lt;後略&gt;

(訂正後)

発行価格(円)	発行価額(円)	資本組入額(円)	申込株数単位	申込期間	申込証拠金(円)	払込期日
1,989	1,840.88	920.44	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>

(注)1. 発行価格等(発行価格、発行価額、資本組入額、売価、引受価額及び引受人の手取金をいう、以下同じ。)及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項(発行価額の総額、資本組入額の総額、差引手取概算額、手取金の使途、引受人の買取引受による売出しの売価額の総額、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及びオーバーアロットメントによる売出しの売価額の総額をいう、以下同じ。)について、平成25年8月21日(水)付の日本経済新聞及び本訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の当社ウェブサイト([URL]http://www.takara-bio.co.jp/) で公表いたします。

&lt;後略&gt;

## 3【株式の引受け】

(訂正前)

引受人の氏名又は名称	住所	引受株式数	引受けの条件
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9番1号	4,800,000株	1. 買取引受けによります。 2. 引受人は新株式払込金として、払込期日に払込取扱場所へ発行価額と同額を払込むことといたします。 3. 引受手数料は支払われません。ただし、一般募集における価額(発行価格)と発行価額との差額は引受人の手取金となります。
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	480,000株	
S M B C 日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号	420,000株	
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	300,000株	
計		6,000,000株	

(訂正後)

引受人の氏名又は名称	住所	引受株式数	引受けの条件
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9番1号	4,800,000株	1. 買取引受けによります。 2. 引受人は新株式払込金として、払込期日に払込取扱場所へ発行価額と同額を払込むことといたします。 3. 引受手数料は支払われません。ただし、一般募集における価額(発行価格)と発行価額との差額は引受人の手取金(1株につき148.12円)となります。
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	480,000株	
S M B C 日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号	420,000株	
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	300,000株	
計		6,000,000株	

## 4【新規発行による手取金の使途】

## (1)【新規発行による手取金の額】

(訂正前)

払込金額の総額(円)	発行諸費用の概算額(円)	差引手取概算額(円)
13,068,000,000	80,000,000	12,988,000,000

(注) 1. 引受手数料は支払われないため、「発行諸費用の概算額」は、これ以外の費用を合計したものであります。また、消費税等は含まれておりません。

2. 払込金額の総額(発行価額の総額)は、平成25年8月5日(月)現在の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額であります。

(訂正後)

払込金額の総額(円)	発行諸費用の概算額(円)	差引手取概算額(円)
11,045,280,000	80,000,000	10,965,280,000

(注) 引受手数料は支払われないため、「発行諸費用の概算額」は、これ以外の費用を合計したものであります。また、消費税等は含まれておりません。

(注) 2. の全文及び1. の番号削除

## （２）【手取金の使途】

（訂正前）

上記差引手取概算額12,988,000,000円については、8,349,000,000円を設備投資資金に、4,639,000,000円を研究開発資金に充当する予定であります。

当社グループは、平成25年5月に公表した中期経営計画において、企業成長のための重要な戦略として、CDMO（Contract Development & Manufacturing Organization）事業（研究受託事業、製造受託事業、臨床開発プロジェクト（ ）を除く遺伝子医療事業及び遺伝子工学研究事業の研究受託事業の合計）の拡大を掲げております。CDMO事業の具体例としては、遺伝子導入用ベクター（目的の細胞に遺伝子を導入するための核酸分子）や再生・細胞医療に利用される細胞を対象とした製造プロセスの開発、品質管理試験法の開発、試験製造、バイオアッセイ（生物学的安全性試験）、GMP（Good Manufacturing Practice、医薬品等の品質管理基準）に準拠した製造受託等があげられます。遺伝子導入用ベクターにおいては、今後当社の臨床試験段階が進むことによる需要増加、また大学や企業等からの臨床開発受託に伴う需要増加が想定されます。（臨床開発プロジェクトとは、遺伝子導入細胞等を用いた医薬品を開発し、商業化を目指すプロジェクトであります。）

iPS細胞に代表される再生・細胞医療の実用化に向けて政府の支援策が広がりを見せる中、当社は、これまで遺伝子治療や細胞医療の臨床開発で培ってきた技術・ノウハウを活用し、バイオ医薬品のGMP製造受託のみならず、顧客の研究開発のパートナーとしての研究受託業務を行うCDMO事業の拡大を目指します。当社は、これらの事業拡大に備え、下表のとおり総額約107億円の設備投資を計画しており、上記差引手取概算額のうち8,349,000,000円を充当する予定であります。

&lt; 中略 &gt;

また、同中期経営計画における企業成長戦略の重要な柱として、遺伝子医療事業における臨床開発プロジェクトの推進を掲げております。当社の臨床開発プロジェクトのうち、頭頸部がん及びメラノーマ（悪性黒色腫）を対象疾患とした「がん治療薬HF10」及びHIV感染症を対象疾患とした「MazF遺伝子治療」の二つのプロジェクトは、既に米国でフェーズ（安全性試験）を実施中であり、この他にも臨床試験の開始を検討している複数のプロジェクトを手がけており、それらは将来日本や米国・アジア等で臨床試験を進め、商業化を目指す計画であります。臨床開発プロジェクトでは、それらに携わる研究員の人件費及び協力企業への委託研究費はもちろん、臨床試験にご協力いただく患者様に係る費用等をすべて当社が負担いたします。これらの臨床開発プロジェクトの費用を含めた遺伝子医療事業全体の研究開発費に、平成25年度から平成27年度の3年間累計で5,232百万円（減価償却費除く。平成25年度1,499百万円、平成26年度1,742百万円、平成27年度1,990百万円）の投下を計画しております。上記差引手取概算額のうち、4,639,000,000円を、平成27年9月末までの上記に係る臨床開発プロジェクト費用（日本及び米国における委託研究費及び人件費等）に主として充当するとともに、他の事業部門の研究開発費にも充当する予定であります。



（訂正後）

上記差引手取概算額10,965,280,000円については、8,349,000,000円を設備投資資金に、2,616,280,000円を研究開発資金に充当する予定であります。

当社グループは、平成25年5月に公表した中期経営計画において、企業成長のための重要な戦略として、CDMO（Contract Development & Manufacturing Organization）事業（研究受託事業、製造受託事業、臨床開発プロジェクト（ ）を除く遺伝子医療事業及び遺伝子工学研究事業の研究受託事業の合計）の拡大を掲げております。CDMO事業の具体例としては、遺伝子導入用ベクター（目的の細胞に遺伝子を導入するための核酸分子）や再生・細胞医療に利用される細胞を対象とした製造プロセスの開発、品質管理試験法の開発、試験製造、バイオアッセイ（生物学的安全性試験）、GMP（Good Manufacturing Practice、医薬品等の品質管理基準）に準拠した製造受託等があげられます。遺伝子導入用ベクターにおいては、今後当社の臨床試験段階が進むことによる需要増加、また大学や企業等からの臨床開発受託に伴う需要増加が想定されます。（臨床開発プロジェクトとは、遺伝子導入細胞等を用いた医薬品を開発し、商業化を目指すプロジェクトであります。）

iPS細胞に代表される再生・細胞医療の実用化に向けて政府の支援策が広がりを見せる中、当社は、これまで遺伝子治療や細胞医療の臨床開発で培ってきた技術・ノウハウを活用し、バイオ医薬品のGMP製造受託のみならず、顧客の研究開発のパートナーとしての研究受託業務を行うCDMO事業の拡大を目指します。当社は、これらの事業拡大に備え、下表のとおり総額約107億円の設備投資を計画しており、上記差引手取概算額のうち8,349,000,000円を充当する予定であります。

< 中略 >

また、同中期経営計画における企業成長戦略の重要な柱として、遺伝子医療事業における臨床開発プロジェクトの推進を掲げております。当社の臨床開発プロジェクトのうち、頭頸部がん及びメラノーマ（悪性黒色腫）を対象疾患とした「がん治療薬HF10」及びHIV感染症を対象疾患とした「MazF遺伝子治療」の二つのプロジェクトは、既に米国でフェーズ（安全性試験）を実施中であり、この他にも臨床試験の開始を検討している複数のプロジェクトを手がけており、それらは将来日本や米国・アジア等で臨床試験を進め、商業化を目指す計画であります。臨床開発プロジェクトでは、それらに携わる研究員の人件費及び協力企業への委託研究費はもちろん、臨床試験にご協力いただく患者様に係る費用等をすべて当社が負担いたします。これらの臨床開発プロジェクトの費用を含めた遺伝子医療事業全体の研究開発費に、平成25年度から平成27年度の3年間累計で5,232百万円（減価償却費除く、平成25年度1,499百万円、平成26年度1,742百万円、平成27年度1,990百万円）の投下を計画しております。上記差引手取概算額のうち、2,616,280,000円を、平成27年9月末までの上記に係る臨床開発プロジェクト費用（日本及び米国における委託研究費及び人件費等）に主として充当するとともに、他の事業部門の研究開発費にも充当する予定であります。

## 第2【売出要項】

## 1【売出株式(引受人の買取引受による売出し)】

(訂正前)

平成25年8月20日(火)から平成25年8月23日(金)までの間のいずれかの日(発行価格等決定日)に決定される引受価額にて後記「2 売出しの条件(引受人の買取引受による売出し)」に記載の引受人は買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額(売出価格、発行価格と同一の価格)で売出しを行います。引受人は受渡期日に引受価額の総額を売出人に支払い、引受人の買取引受による売出しにおける売出価格の総額との差額は引受人の手取金とします。売出人は引受人に対して引受手数料を支払いません。

種類	売出数	売出価額の総額(円)	売出しに係る株式の所有者の住所及び氏名又は名称
普通株式	5,000,000株	<u>11,767,500,000</u>	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 宝ホールディングス株式会社

- (注) 1. 一般募集及び引受人の買取引受による売出しにあたり、その需要状況を勘案した上で、当該募集及び売出しの主幹事会社である野村證券株式会社がオーバーアロットメントによる売出しを行う場合があります。  
オーバーアロットメントによる売出し等の内容につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 1 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照下さい。
2. 一般募集及び引受人の買取引受による売出しに関連して、ロックアップに関する合意がなされておりますが、その内容につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 2 ロックアップについて」をご参照下さい。
3. 振替機関の名称及び住所  
株式会社証券保管振替機構  
東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号
4. 売出価額の総額は、平成25年8月5日(月)現在の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額であります。

(訂正後)

平成25年8月20日(火)(発行価格等決定日)に決定された引受価額にて後記「2 売出しの条件(引受人の買取引受による売出し)」に記載の引受人は買取引受けを行い、当該引受価額と異なる価額(売出価格、発行価格と同一の価格)で売出しを行います。引受人は受渡期日に引受価額の総額を売出人に支払い、引受人の買取引受による売出しにおける売出価格の総額との差額は引受人の手取金とします。売出人は引受人に対して引受手数料を支払いません。

種類	売出数	売出価額の総額(円)	売出しに係る株式の所有者の住所及び氏名又は名称
普通株式	5,000,000株	<u>9,945,000,000</u>	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 宝ホールディングス株式会社

- (注) 1. 一般募集及び引受人の買取引受による売出しにあたり、その需要状況を勘案した結果、当該募集及び売出しの主幹事会社である野村證券株式会社がオーバーアロットメントによる売出しを行います。  
オーバーアロットメントによる売出し等の内容につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 1 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照下さい。
2. 一般募集及び引受人の買取引受による売出しに関連して、ロックアップに関する合意がなされておりますが、その内容につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 2 ロックアップについて」をご参照下さい。
3. 振替機関の名称及び住所  
株式会社証券保管振替機構  
東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号

(注) 4. の全文削除

## 2【売出しの条件(引受人の買取引受による売出し)】

(訂正前)

売出価格 (円)	引受価額 (円)	申込期間	申込 単位	申込 証拠金 (円)	申込 受付場所	引受人の住所及び氏名又は名称	元引受契 約の内容
未定 (注)1.2. 発行価格等決定日の株式会 社東京証券取 引所における 当社普通株式 の普通取引の 終値(当日に 終値のない場 合は、その日 に先立つ直近 日の終値)に 0.90~1.00を 乗じた価格 (1円未満端 数切捨て)を 仮条件としま す。	未定 (注)1. 2.	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>

(注)1. 日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式により、上記仮条件により需要状況を勘案した上で、平成25年8月20日(火)から平成25年8月23日(金)までの間のいずれかの日(発行価格等決定日)に、売出価格を決定し、併せて引受価額(売出人が引受人より受取る1株当たりの売買代金)を決定いたします。

今後、発行価格等(発行価格、発行価額、資本組入額、売出価格、引受価額及び引受人の手取金)が決定された場合は、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項(発行価額の総額、資本組入額の総額、差引手取概算額、手取金の使途、引受人の買取引受による売出しの売出価額の総額、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及びオーバーアロットメントによる売出しの売出価額の総額)について、目論見書の訂正事項分の交付に代えて発行価格等決定日の翌日付の日本経済新聞及び発行価格等の決定に係る有価証券届出書の訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の当社ウェブサイト([URL]http://www.takara-bio.co.jp/)(新聞等)で公表いたします。なお、発行価格等が決定される前に有価証券届出書の記載内容について訂正が行われる場合には、目論見書の訂正事項分が交付されます。また、発行価格等の決定に際し、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項以外の記載内容についての訂正が含まれる場合には目論見書の訂正事項分が交付され、新聞等による公表は行いません。

&lt;中略&gt;

## 4. 元引受契約の内容

買取引受けによります。

引受手数料は支払われません。

ただし、売出価格と引受価額との差額は、引受人の手取金となります。

&lt;後略&gt;

(訂正後)

売出価格 (円)	引受価額 (円)	申込期間	申込 単位	申込 証拠金 (円)	申込 受付場所	引受人の住所及び氏名又は名称	元引受契 約の内容
1,989	1,840.88	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>

(注) 1. 発行価格等(発行価格、発行価額、資本組入額、売出価格、引受価額及び引受人の手取金)及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項(発行価額の総額、資本組入額の総額、差引手取概算額、手取金の使途、引受人の買取引受による売出しの売出価額の総額、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及びオーバーアロットメントによる売出しの売出価額の総額)について、平成25年8月21日(水)付の日本経済新聞及び本訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の当社ウェブサイト([URL]http://www.takara-bio.co.jp/)で公表いたします。

&lt;中略&gt;

## 4. 元引受契約の内容

買取引受けによります。

引受手数料は支払われません。

ただし、売出価格と引受価額との差額は、引受人の手取金(1株につき148.12円)となります。

&lt;後略&gt;

## 3【売出株式(オーバーアロットメントによる売出し)】

(訂正前)

種類	売出数	売出価額の総額(円)	売出しに係る株式の所有者の住所及び氏名又は名称
普通株式	1,650,000株	3,883,275,000	東京都中央区日本橋一丁目9番1号 野村證券株式会社

(注) 1. オーバーアロットメントによる売出しは、一般募集及び引受人の買取引受による売出しにあたり、その需要状況を勘案した上で、当該募集及び売出しの主幹事会社である野村證券株式会社が当社株主である宝ホールディングス株式会社から1,650,000株を上限として借入れる当社普通株式の売出しであります。上記売出数はオーバーアロットメントによる売出しの売出数の上限を示したものであり、需要状況により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われなない場合があります。

オーバーアロットメントによる売出し等の内容につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 1 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照下さい。

今後、売出数が決定された場合は、発行価格等(発行価格、発行価額、資本組入額、売出価格、引受価額及び引受人の手取金)及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項(発行価額の総額、資本組入額の総額、差引手取概算額、手取金の使途、引受人の買取引受による売出しの売出価額の総額、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及びオーバーアロットメントによる売出しの売出価額の総額)について、目論見書の訂正事項分の交付に代えて発行価格等決定日の翌日付の日本経済新聞及び発行価格等の決定に係る有価証券届出書の訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の当社ウェブサイト([URL]http://www.takara-bio.co.jp/) (新聞等)で公表いたします。なお、発行価格等が決定される前に有価証券届出書の記載内容について訂正が行われる場合には、目論見書の訂正事項分が交付されます。また、発行価格等の決定に際し、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項以外の記載内容についての訂正が含まれる場合には目論見書の訂正事項分が交付され、新聞等による公表は行いません。

2. 振替機関の名称及び住所

株式会社証券保管振替機構

東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号

3. 売出価額の総額は、平成25年8月5日(月)現在の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額であります。

(訂正後)

種類	売出数	売出価額の総額(円)	売出しに係る株式の所有者の住所及び氏名又は名称
普通株式	1,650,000株	3,281,850,000	東京都中央区日本橋一丁目9番1号 野村證券株式会社

(注) 1. オーバーアロットメントによる売出しは、一般募集及び引受人の買取引受による売出しにあたり、その需要状況を勘案した結果、当該募集及び売出しの主幹事会社である野村證券株式会社が当社株主である宝ホールディングス株式会社から借入れる当社普通株式1,650,000株の売出しであります。

オーバーアロットメントによる売出し等の内容につきましては、後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 1 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照下さい。

発行価格等(発行価格、発行価額、資本組入額、売出価格、引受価額及び引受人の手取金)及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項(発行価額の総額、資本組入額の総額、差引手取概算額、手取金の使途、引受人の買取引受による売出しの売出価額の総額、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及びオーバーアロットメントによる売出しの売出価額の総額)について、平成25年8月21日(水)付の日本経済新聞及び本訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の当社ウェブサイト([URL]http://www.takara-bio.co.jp/)で公表いたします。

2. 振替機関の名称及び住所

株式会社証券保管振替機構

東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号

(注) 3. の全文削除

## 4【売出しの条件（オーバーアロットメントによる売出し）】

（訂正前）

売出価格 （円）	申込期間	申込 単位	申込証拠金 （円）	申込受付場所	引受人の住所及び 氏名又は名称	元引受契約の 内容
未定 (注)1.	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>

&lt;後略&gt;

（訂正後）

売出価格 （円）	申込期間	申込 単位	申込証拠金 （円）	申込受付場所	引受人の住所及び 氏名又は名称	元引受契約の 内容
1,989	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>	<省略>

&lt;後略&gt;

## 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

## 1 オーバーアロットメントによる売出し等について

（訂正前）

一般募集及び引受人の買取引受による売出しにあたり、その需要状況を勘案した上で、当該募集及び売出しの主幹事会社である野村證券株式会社が当社株主である宝ホールディングス株式会社（以下「貸株人」という。）から1,650,000株を上限として借入れる当社普通株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行う場合があります。オーバーアロットメントによる売出しの売出数は、1,650,000株を予定しておりますが、当該売出数は上限の売出数であり、需要状況により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われない場合があります。

&lt;後略&gt;

（訂正後）

一般募集及び引受人の買取引受による売出しにあたり、その需要状況を勘案した結果、当該募集及び売出しの主幹事会社である野村證券株式会社が当社株主である宝ホールディングス株式会社（以下「貸株人」という。）から借入れる当社普通株式1,650,000株の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行います。

&lt;後略&gt;